

第16回香川眼科シンポジウム

開催日時 令和5年2月18日(土) 18:00~19:45

開催形式 ハイブリッド開催 (現地会場/Zoomウェビナー)

<会場> JRホテルクレメント高松 3F 「飛天西」
香川県高松市浜ノ町1-1 / TEL 087-811-1111



主催 千寿製薬株式会社



特別講演 I

眼瞼炎・マイボーム腺機能不全 治療戦略 2023

伊藤医院 眼科 副院長 / LIME 研究会代表

有田 玲子 先生

2023年2月、日本初のマイボーム腺機能不全診療ガイドラインが策定された。マイボーム腺機能不全 (Meibomian Gland Dysfunction, MGD) は眼瞼炎の一因であり、蒸発亢進型ドライアイの主因である。日常の一般診療において私たち眼科医が遭遇する最も頻度の高い疾患のひとつだが失明しない疾患でもあり、見過ごされることが多かった。

しかしながらその眼不快感に悩まされる患者は多く、症状も長期にわたる場合が多い。MGDはここ数年、根本治療ともなりうる治療オプションが複数出現してきたため前眼部の専門家にとってはもちろん、内眼手術後のMGDが術後不満足の4割を占めることが明らかになるにつれ眼科サーजनにも治療すべき疾患として国際的に注目を浴びているHOTな疾患である。また昨今のコロナ禍におけるVDT使用時間の増加に伴うMGD患者の増加は明らかで、近年、特に「瞼」に対する重要性が高まっていることは言うまでもない。本セミナーではマイボーム腺機能不全診療ガイドラインの内容や、実際のMGD患者の臨床例をまじえながらのアジスロマイシン点眼液の最適な適応症例、患者への服薬指導、セルフケア、世界最先端の話題までの一連を披露し、明日からの臨床に役に立つ内容をお届けする。

● 略歴

- 1994年 京都府立医科大学卒業
- 2001年 京都府立医科大学大学院 博士課程修了
- 2002年 慶應義塾大学眼科助手
- 2005年 伊藤医院眼科副院長
- 2007年 東京大学眼科臨床研究員
- 2011年 慶應義塾大学眼科講師 (非常勤)
- 2012年 LIME研究会代表
- 2021年 日本角膜学会評議員

● 受賞歴

- 2008年 ドライアイリサーチアワード受賞
- 2016年 ドライアイ部門 最高インパクトファクター賞受賞

● 海外での活動

- 2009年 国際ドライアイ学会 (TFOS) MGDガイドライン 国際理事
- 2012年 国際ドライアイ学会 (TFOS) コンタクトレンズガイドライン 国際理事
- 2017年 国際ドライアイ学会 (TFOS) ドライアイガイドライン (DEWS II) 国際理事

蒸発亢進型ドライアイ・マイボーム腺機能不全の国際的第一人者として活躍中



特別講演 II

長期治療を見据えた加齢黄斑変性診療

福岡歯科大学総合医学講座眼科 教授

大島 裕司 先生

滲出型加齢黄斑変性 (wAMD) に対する治療は、抗VEGF剤の登場によって劇的に変化し、視力維持可能な疾患となった。短期的には視力維持のみならず、視力改善が得られる症例が認められることが報告されている。しかし、加齢黄斑変性の病態を沈静化させ完全寛解することは困難であり、視力維持のための長期的なマネジメントが重要である。そのため、最近ではTreat and Extendに代表されるproactiveな治療法も検討、実施されている。近年、従来から用いられているラニズマブ、アフリベルセプトのみならず、プロルシズマブやファリシマブという新薬が認可され、難症例に対する効果や治療間隔の延長が期待されている。またポリープ状脈絡膜血管症 (PCV) では、抗VEGF単独療法のみならず、PDTとの併用療法も再検討され、治療効果や治療回数の減少効果が報告されている。これらの現状を踏まえ本セミナーでは、長期的な視力維持をめざして当科で行っている治療方針と維持期の管理について紹介するとともに最新の知見についても大規模臨床試験の結果を踏まえてお話したい。この講演により、明日からのAMD診療のお役に立てればと思う。

● 略歴

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1993年 長崎大学医学部卒業 | 2008年 九州大学病院眼科助教 |
| 1995年 九州大学大学院医学系研究科博士課程 | 2014年 九州大学病院講師 |
| 1999年 日本学術振興会特別研究員 | 2016年 福岡大学筑紫病院 眼科 准教授 |
| 2000年 ジョンスホプキンス大学、ウィルマー眼研究所研究員 | 2019年 済生会福岡総合病院 眼科 主任部長 |
| 2003年 別府医療センター眼科医長 | 2021年 福岡歯科大学総合医学講座眼科 准教授 |
| 2005年 北九州市立医療センター眼科主任部長 | 2022年 福岡歯科大学総合医学講座眼科 教授 |

